

4 本時の学習（4／7時間）【5年生】

(1) 目標 事実と意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、要旨を把握することができる。

(2) 展開

4 本時の学習（4／7時間）【6年生】

(1) 目標 筆者（池上 彰さん）の説明文「メディアと人間社会」の主張を述べるためにどんな論の展開のしかたや表現の工夫をしているか捉えることができる。

(2) 展開

指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図・内容・方法等)	学習活動 (◇予想される児童の発言)	時間	過程	直間	過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図・内容・方法等)
	1 めあてから学習課題を設定する (1) 「想像力のスイッチ」とは何か前時までの学習を振り返る。 ◇『まだ分からないよね。』 p190 『事実かな、印象かな。』 p191 『他の見方もないかな。』 p191 『何が隠れているのかな。』 p192	7分	☑	間直	☑	7分	1 めあてから学習課題を設定する。 (1) 前時までの学習を振り返る ◇鴻上さんの「大切な人とつながるために」の特徴は ① 論の展開の構成・尾括型。 ② 事例の挙げ方 具体例・問いかけ・筆者の考えの繰り返し ③ 表現の工夫・「あなた」と語りかけ、会話するよう文章	○鴻上さんの「大切な人と深くつながるために」の主張を述べるためにどんな①論の展開の構成②事例の挙げ方③表現の工夫があったか前時の学習を確認する。
【めあて】「想像力のスイッチを入れよう」という題名にしたのか筆者の思いを考えよう。 (「問い」を生み出す手立て) ○想像力のスイッチを指す四つの言葉を用いた理由を考えさせる。	(2) 学習課題を持つ ●「『想像力のスイッチ』を入れる」ために四つのスイッチは全部必要なのだろうか。						【めあて】 筆者（池上 彰さん）はどのようにして、読み手に自分の思いを伝えようとしているのか考えよう。	(「問い」を生み出す手立て) ○鴻上さんの手法との違いは何なのか考えさせる。
【個に応じた支援や到達していない児童への手立て】 ○ワークシートの裏にキーワードになる言葉や書き出しの部分を追加した同じワークシートを手がかりとする。空欄の表のワークだけで解決する児童にも手応えがあるようにする。	2 課題の解決に向けて活動する。 (3) 「『想像力のスイッチ』を入れる」ために四つのスイッチは必要なのか考える。 【①自己存在感】 ◇全部必要 『まだ分からないよね。』 p190 に対しての理由 『事実かな、印象かな。』 p191 に対しての理由 『他の見方もないかな。』 p191 に対しての理由 『何が隠れているのかな。』 p192 に対しての理由	10分	☑	間直	☑	10分	2 課題解決に向けて活動する (3) 論の展開の構成や事例の挙げ方や表現の工夫の3つの項目について考える。 【①自己存在感】 ◇①論の展開の構成・双括型。 ②事例の挙げ方・人間の欲求と共に発達したメディアの順 ③表現の工夫・「わたしたち人間は、一人では生きられません。」と読み手を引きつける書き出しの表現	【個に応じた支援や到達していない児童への手立て】 ○ワークシートの裏にキーワードになる言葉や書き出しの部分を追加した同じワークシートを手がかりとする。空欄の表のワークだけで解決する児童にも手応えがあるようにする。
(言語活動の設定及び設定の意図) ○自分の考えと他者の考えを比較する活動を設定することで、児童の考えの変容や収束をねらう。	(4) 3人班で考えを出し合い、班の考えをまとめる。 【②共感的な人間関係】 ◇目の前にあるのが全てだと思わないように。意識的に想像することを行って欲しい。真実は何か常に考えて欲しい。	8分	☑	間直	☑	8分	(4) 3人班で考えを交流し、班としての考えをまとめる。 【②共感的な人間関係】	(言語活動の設定及び設定の意図) ○自分の考えと他者の考えを比較する活動を設定することで、児童の考えの変容や収束をねらう。
【具体的評価規準】観点 ○【思①】 事実と意見などとの関係を叙述を基に押さえ、要旨を把握している。 (方法：タブレット、学習シート・発言)	3 学習課題に対するまとめをし、めあてに対するふり返しをする。 (5) 全体で、考えを共有し、質問や意見（共感や疑問）を出し合う。 (6) 全体で共有したことをもとに、自分で学習課題をまとめる。	15分	☑	間直	☑	15分	3 学習課題に対するまとめをし、めあてに対するふり返しをする。 (5) 全体で、考えを共有し、質問や意見（共感や疑問）を出し合う。 (6) 全体で共有したことをもとに、自分で学習課題をまとめる。	【具体的評価規準】 ○【思①】 事実と感想、意見などとの関係を押さえ、論の展開の仕方や表現の工夫を捉えて、筆者の主張を読み取っている。 (方法：タブレット、学習シート・発言)
【まとめ】 四つのスイッチは必要である。 筆者は、「想像力のスイッチを入れよう」という題名にすることで、目にしている情報以外の情報について考えたり、情報に入っている印象に注意したり、行動のうらにある事情を考えたり、見えている情報は一部でしかないこと知っておいたりすることを意識して行うことの大切さを伝えているから。							【まとめ】 ①論の展開・双括型の構成 ②事例の挙げ方・人間の欲求と共に発達したメディアの順に事例が挙げられている ③表現の工夫・書き出しに、「わたしたち人間は、一人では生きられません。」と読み手を引きつける表現を使っている。 ことで筆者の思いを伝えている。	
○めあてに対する学習内容の振り返りをする。 【③自己選択・決定】	(7) 本時のふり返しをする。	5分		間直		5分	(7) 本時のふり返しをする。	○めあてに対する学習内容の振り返りをする。 【③自己選択・決定】